

令和 2 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

消防本部



目 次

| | |
|----------------------------|---|
| 消防指令システム・デジタル無線の部分更新 | 1 |
| 消防団の充実強化 | 2 |

新規 消防指令システム・デジタル無線の部分更新

| 1 事業費 (単位：千円) | 【財源内訳】 | | 【主な使途】 | |
|---------------|----------|--------|--------|--------|
| 19,690 | 公共施設管理基金 | 19,690 | 需用費 | 19,690 |

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

消防指令システムは、119番通報から位置を特定し、素早く現場に駆けつけるための重要なシステムですが、更新等にかかる費用が高額なため、令和元年度から県市長会と県町村会にて、システムの共同運用に向けた調査・検討会を設立し、今後、令和7年度以降の共同運用開始に向けて、各消防本部の費用負担や運用方法など、詳細な検討が進められる予定です。

現在、市消防本部で運用している消防指令システムは平成26年9月より運用開始をしており、一般的に耐用年数が10年であるため、令和6年には全更新が必要となりますが、共同運用の動きを見越した運用ができるよう整備を行います。

3 事業概要

従来通りの119番通報システムの利用ができるよう、精密機器であるシステムの消耗・劣化の激しい部分やソフトウェアを更新します。これにより、耐用年数が10年から12年となり、令和8年度まで運用が可能となります。



| | | | | | |
|-----|-------------------------|-----|-------|-----|---------|
| (款) | 9 消防費 | (項) | 1 消防費 | (目) | 1 常備消防費 |
| 所 属 | 消防本部指令課 Tel0577-73-0119 | | | 予算書 | P.116 |

拡充 消防団の充実強化

| 1 事業費 (単位：千円) | 【財源内訳】 | 【主な使途】 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|--------|--------|-------|--------|------|-----|----|--------|------|--------|-----|--------|--|
| 58,298 | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">緊防債</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">35,000</td> <td style="width: 30%;">備品購入費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">36,845</td> </tr> <tr> <td>県補助金</td> <td style="text-align: right;">813</td> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">11,245</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">22,485</td> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">10,208</td> </tr> </table> | 緊防債 | 35,000 | 備品購入費 | 36,845 | 県補助金 | 813 | 旅費 | 11,245 | 一般財源 | 22,485 | その他 | 10,208 | |
| 緊防債 | 35,000 | 備品購入費 | 36,845 | | | | | | | | | | | |
| 県補助金 | 813 | 旅費 | 11,245 | | | | | | | | | | | |
| 一般財源 | 22,485 | その他 | 10,208 | | | | | | | | | | | |
| (前年度予算 50,562) | | | | | | | | | | | | | | |

2 事業背景・目的

市消防団は、平成30年7月に発生した豪雨災害において、第一線で迅速な避難誘導や河川状況の確認を行うなど、地域防災の中核となっています。こうした状況もあり、消防団員の災害対応時の安全を確保するため、平成30年度から救命胴衣、防火衣などの装備品の充実を図ってきました。

しかしながら、現在、新入団員の減少及び高齢化が進んでおり、市消防団の地域防災力を維持するためには、消防団員の確保が課題となっている現状にあります。

このことから、令和2年度は、新規入団者を増やし魅力ある消防団組織とするため、消防団員の処遇改善を行うとともに、操法訓練から実践的訓練重視にシフトし、機動力・災害対応力を高め、消防団の充実強化を図ります。

3 事業概要

① 【拡充】消防団員の処遇改善 (11,000千円)

年報酬・費用弁償を個人支給とし、費用弁償（出動手当）を増額します。

【従来】 水火災、警戒、訓練 1回につき1,300円

【増額後】 水火災等の災害の場合 1回につき6,000円（但し4時間未満は3,000円）

警戒・訓練・行事・その他の場合 1回につき1,500円

② 【新規】女性消防団活動の充実強化 (1,626千円)

女性消防団員の活躍の場の拡充のため、防災防火啓発活動に活用する資機材を購入するほか、新たにお試し入団制度を創設し、女性消防団員の増員を図ります。

また、「全国女性消防団員活性化大会」に参加し、日頃の防災活動の成果を発表するとともに、意見交換を行い、今後の活動につなげます。

③ 【継続】消防団装備の更新及び充実強化 (45,672千円)

古川方面隊、河合方面隊の積載車を更新し、神岡方面隊のポンプ車1台を積載車に変更し更新するほか、雨合羽、水幕ホース、防火衣、救助資機材を配備します。

| | | | |
|-----------|--------------------------|--------------|-------|
| (款) 9 消防費 | (項) 1 消防費 | (目) 2 非常備消防費 | |
| 所 属 | 消防本部総務課 Tel.0577-73-6198 | 予算書 | P.117 |